

代表者名	千葉 隆	所管部課名	総務部総務課
所在地	秋田市新屋町字砂奴寄4番地の50	設立年月日	昭和51年10月16日

【沿革、及び、県の出捐理由】

スポーツ・文化の振興、産業廃棄物の適正処理、脳血管医学の振興及び県有体育施設・文化施設等の管理委託推進等を目的に、12年4月、環境保全公社を存続法人として脳血管医療施設管理公社、脳血管医学振興会、スポーツ振興事業団の4法人統合により設立。

【出捐者】(13年度末) (百万円、%)

区分	団体数	出捐額	構成比
秋田県	1	35	56.6
市町村	26	19	29.9
その他	4	8	13.5
計	31	62	100.0

【事業】

主たる業務

県立体育館、スポーツ会館、中央公園、県民会館環境保全センター、脳血管研究センター等19施設の管理運営

事業実績 (トン・人・千円)

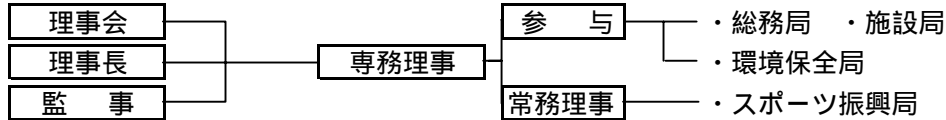
事業名等	12年度	13年度
産業廃棄物処理量	127,854	125,639
施設利用者数	1,270,987	1,368,767
県管理委託費	1,602,756	1,793,246

13年度事業概要、及び、14年度事業計画・目標

13年度 公の17施設の管理運営及びその他2施設の業務委託 脳血管医学振興関連事業 環境保全関連事業 県出資法人の共同採用試験及び職員接遇共同研修  
 14年度 スケールメリットを十分に活かしながら効率的、有効な事業の推進 県出資法人の人事調整業務の推進、共同採用試験及び職員接遇共同研修の実施

【組織】

運営機構



役員数 (人)

	理	事	監	事
常勤		2		
内、県OB		2		
非常勤		13		2
内、県OB				
内、県職員		3		1
計		15		2
内、県関係者		5		1

職員数 (人)

	人数	平均年齢	平均勤続年数
正職員	48	45.1	
内、県OB	4		
出向職員	42		
内、県職員	35		
臨時・嘱託	127		
内、県OB	14		13.0
計	217		
内、県関係者	53		

【財務】

損益状況(13年度) (百万円)

	金額
経常収入 A	1,856
受託事業収入	1,841
補助金収入	
自主事業収入	9
運用益収入	
その他	6
経常支出 B	1,833
人件費	647
その他	1,186
経常損益 C = A - B	23
経常外収入	8
経常外支出	8
諸税	23
当期損益	0

財務状況(13年度末) (百万円、%)

	金額	構成比
流動資産	232	45.2
固定資産	281	54.8
資産計	513	100.0
流動負債	229	44.7
短期借入金		
固定負債		
長期借入金		
引当金等	135	26.4
負債計	364	71.1
基本金	62	12.1
剰余金	87	17.0
資本計	148	28.9
負債・資本計	512	100.0

【県の財政支出】

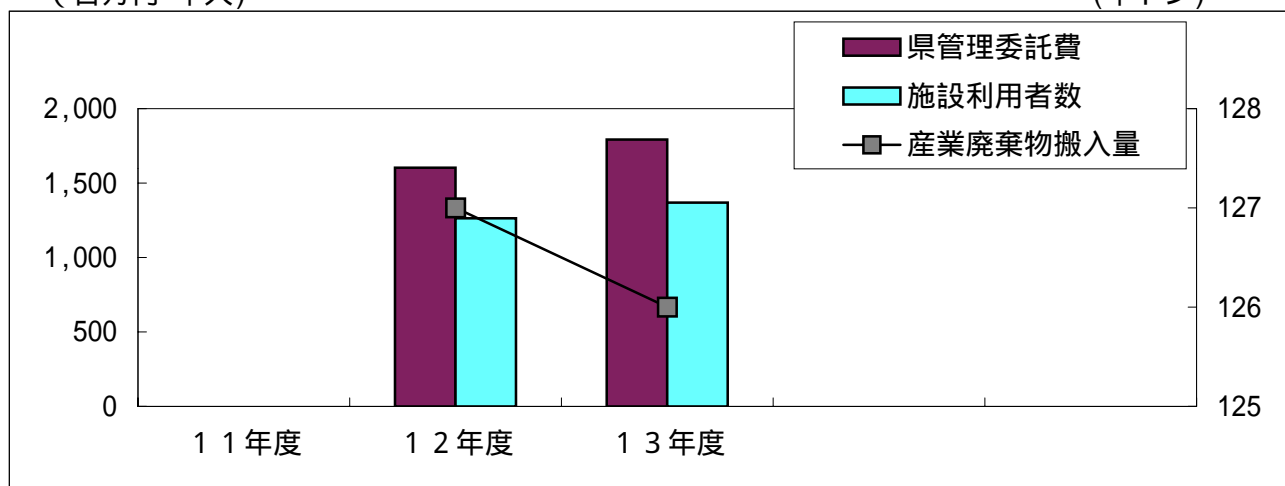
(千円)

	11年度	12年度	13年度	支出目的・対象事業概要等
補助金				
委託費		1,602,756	1,793,246	秋田県有施設管理委託
貸付残高				

【事業等の推移】(過去5年度)

(百万円・千人)

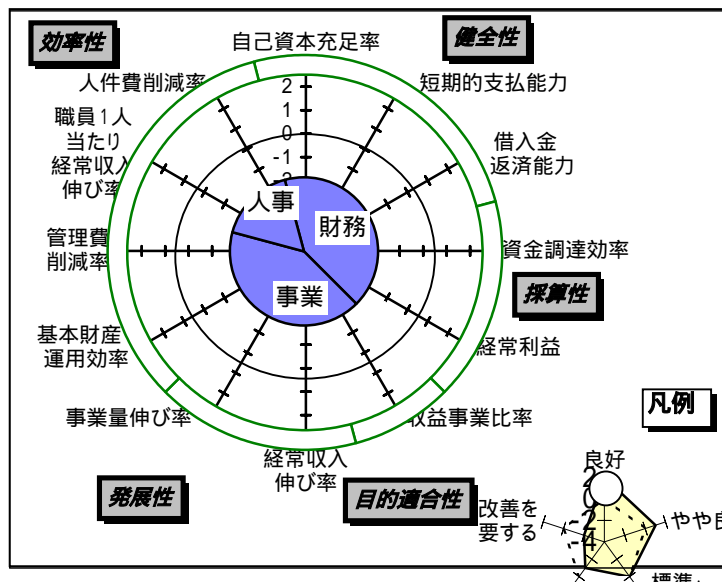
(千トン)



【諸比率等】(平成13年度)

【各評価項目レーダーチャート】

自己資本比率	28.97 %
流動比率	101.21 %
借入金返済能力	- 年
支払利息比率	- %
経常利益率	1.79 %
収益事業比率	0.1 %
経常収入額	1,856,027 千円
事業量(産業廃棄物処理量)	125,639 トン
基本財産運用効率	0.53 %
管理費比率	0.2 %
職員1人当り経常収入額	8,475 千円
人件費比率	34.9 %



【経営概況、経営上の課題・問題点等】

当法人は、自主事業収入、施設利用者数共に前年度実績を上回っており、安定した成長を続けている。その一方で、事業経費となる受託費も増加していることから、より一層の経営の合理化・適正化を図ることでコスト削減に努めるとともに、受託施設を有効に活用できるよう、事業を展開していく必要がある。

【経営評価】

概ね安定した経営内容	一層の努力を要する経営内容
統合効果を分析・検証し、更なる効率化を推進する必要がある。	